



(公財) 山階鳥類研究所
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115
電話：04-7182-1101 FAX：04-7182-1106
<http://www.yamashina.or.jp>



第21回山階芳麿賞 渡辺茂 慶應義塾大学名誉教授 への贈呈を決定しました

第21回山階芳麿賞を渡辺茂（わたなべ・しげる）氏に贈呈することを決定しましたのでお知らせいたします。山階芳麿賞は国内において鳥学および鳥類保護に顕著な功績のあった方（団体を含む）を讃える賞で、平成4（1992）年から実施しています。



渡辺茂
慶應義塾大学名誉教授

渡辺茂氏は、鳥類に関して、動物行動学、比較神経科学にまたがる、学際的な研究において顕著な業績を収められました。さらに国内外の多数の共同研究者と交流し、後進を育成して、国際的な貢献を果たすとともに、普及的な書籍で鳥類学の知を広げることにより大きな貢献をしました。これらの功績を讃えて、第21回山階芳麿賞を贈呈することが決定いたしました（※添付資料（1）贈呈理由参照）。

※この資料に掲載した写真のデジタルデータをご希望の方は下記までご連絡ください。

本件についてのお問い合わせ先
(公財) 山階鳥類研究所
広報コミュニケーションディレクター：平岡考
電話：04-7182-1101 FAX:04-7182-1106
携帯電話：090-5332-2769

山階芳麿賞（やましなよしまろしょう）

日本の鳥学及び鳥類保護に顕著な功績のあった者（団体を含む）を讃え、わが国の鳥学の発展並びに鳥類保護の振興に寄与することを目的として、平成4（1992）年に、山階鳥類研究所財団設立50周年を記念して設けたものです。賞の名称は、山階鳥類研究所の創業者、山階芳麿博士の功績を記念しています（添付資料（3）をご参照ください）。

記念講演会を開催します 「絵を見るハト、 音楽を聴くブンチョウ」

第21回山階芳麿賞の贈呈を記念した講演会を下記日程で開催いたします。詳細については、あらためてご案内いたします。

【日時】令和2（2020）年10月4日（日）

【場所】東京都内（予定）

※新型コロナウイルス感染症の状況によって、ウェブによる開催への変更も検討します。詳細が決まりましたら山階鳥研のウェブサイトでご案内します。

【参加費】無料

【主催】(公財) 山階鳥類研究所

【共催】朝日新聞社

※なお、贈呈式は、7月6日（月）に関係者が出席して東京都内で行う予定です。

渡辺茂氏への山階芳麿賞贈呈理由

山階芳麿賞選考委員長 奥野卓司

渡辺茂氏は、動物行動学と比較神経科学において、鳥類に関する学際的な研究を精力的、かつ継続的に行い顕著な業績を収めました。氏は、鳥類の行動に関して、厳密で精細な実験心理学の手法を導入することによって、鳥類の驚くべき認知能力の存在を科学的に証明、分析したパイオニアです。たとえば、ハトを使って、ヒト以外の動物がモネやピカソの絵画を認知、分類できることを示しました。この一連の研究の結果、渡辺氏はイグ・ノーベル賞を受賞されています。その後、多くの研究者が同様の研究を進めており、今日、比較認知科学と呼ばれる新分野が確立されましたが、これは渡辺氏の貢献なくしてはありえなかったといえましょう。

さらに渡辺氏は、様々な神経科学の手法を用いて、鳥類の脳と行動の関係を明らかにすべく学際的な研究を行ってきました。とくに鳥類の視覚能力や空間認知能力の神経メカニズムに関する氏の研究は画期的で、現在の比較神経科学、進化神経科学の基礎となっています。たとえば、2012年の論文は鳥類の視覚系においてもヒトの視覚系と同様に、視覚刺激そのものの情報とその位置の情報が並列処理されていることを明らかにしたものです。また、氏は、鳥類の海馬が空間認知にどのように関与しているかを調べ、哺乳類の海馬との比較分析を行いました。これは海馬の起源と進化の過程を研究する上での重要な業績です。

渡辺氏は、日本のみならず海外でも、多数の共同研究者と交流し、後進を育成して、国際的な貢献を果たしてきています。渡辺氏の著書は、心理学、神経科学、そして進化学など多岐にわたっていますが、『鳥脳力』『美の起源』『動物に「心」は必要か』などは、鳥類学研究者以外の人々への鳥類学の知を広げることに大きな貢献をしました。近年の鳥類学の研究が、行動生態学と保全研究に集中しているなかで、氏が異なった分野で業績をあげ、鳥類学の領域を広げられたことも選考委員会では高く評価されました。

これらの功績をたたえて、山階芳麿賞選考委員会は渡辺茂氏に山階芳麿賞を贈ることがふさわしいと判断いたしました。

第21回山階芳麿賞受賞者

渡辺茂博士

わたなべ・しげる

1948年1月19日 東京生まれ

専門：動物行動学・比較神経科学

1970年 慶應義塾大学文学部卒業

1973年 慶應義塾大学文学部助手

1975年 慶應義塾大学大学院社会学研究科心理学専攻博士課程修了

1979年 文学博士

1981年 慶應義塾大学文学部助教授

1999年 慶應義塾大学文学部教授

2012年 慶應義塾大学文学部名誉教授

【主な著書】

『認知の起源をさぐる』(1995・岩波書店) ◆ 『ピカソを見分けるハト』(1995・日本放送協会) ◆ 『ハトが分かればヒトがみえる』(1997・共立出版) ◆ 『心の比較認知科学』(編・1998・ミネルヴァ書房) ◆ 『ヒト型脳とトリ型脳』(2001・文芸春秋社) ◆ 『鳥類学事典』(編集委員・2004・昭和堂) ◆ 『脳科学と心の進化』(共著・2007・岩波書店) ◆ 『比較海馬学』(共編・2008・ナカニシヤ) ◆ 『鳥脳力』(2010・化学同人社) ◆ 『心の多様性』(共著・2014・東京大学出版会) ◆ 『情動の進化』(共著・2015・中山書店) ◆ 『美の起源-アートの行動生物学-』(2016・共立出版) ◆ 『動物に「心」は必要か：擬人主義に立ち向かう』(2019・東京大学出版会)

【受賞】

イグ・ノーベル賞(心理学部門・95) ◆ 日本心理学会『国際賞・特別賞』(17)

【国際誌の編集】 *Animal Cognition*, *Biological Review*, *Behavioral Processes*, *Frontiers in Psychology*, *Animal Behavior and Cognition*, *Japanese Psychological Research*.

山階芳麿賞について

山階鳥類研究所は、平成 4(1992)年 7 月に行われた財団創立 50 周年記念行事の一環としてこの賞を設けることとしました。日本の鳥学及び鳥類保護に寄与された、山階鳥類研究所の創立者・故山階芳麿博士の功績を記念して、この賞を「山階芳麿賞」と名付けました。

山階芳麿賞は、日本の鳥類の研究及び鳥類保護に顕著な功績のあったものを讃え、わが国の鳥学の発展並びに鳥類保護の振興に寄与することを目的としています。

受賞者は「山階芳麿賞」選考委員会で選考されます。受賞者は、隔年度、原則として 1 名とし、選考の結果該当者がいない場合には、その年度の表彰は行いません。選考委員会は学識経験者その他理事長が必要かつ適格と判断する者 (5~12 名) で構成されます。

表彰は山階鳥類研究所総裁・秋篠宮文仁皇嗣殿下が行い、受賞者には表彰状と山階芳麿賞記念メダルが贈呈されます。記念メダルのデザインは、表・山階芳麿博士肖像、裏・ヤンバルクイナのレリーフとなっており、受賞年と受賞者氏名が刻印されます。ヤンバルクイナは沖縄県で発見され、昭和 56 (1981) 年に山階芳麿博士らが新種として発表した山階鳥類研究所のシンボルの一つです。なお、平成 15 (2003) 年度からはさらに副賞として「朝日新聞社賞」(賞金 50 万円と盾) が贈られています。

歴代の受賞者は下記のとおりです。

回数	氏名	所属・職名	受賞年月日	備考
第一回	羽田健三	信州大学名誉教授	平成 4 年 7 月 3 日	H6 年 11 月逝去
第二回	松山資郎	山階鳥類研究所顧問	平成 5 年 7 月 5 日	H12 年 8 月逝去
第三回	中村司	山梨大学名誉教授	平成 6 年 7 月 5 日	H30 年 11 月逝去
第四回	黒田長久	山階鳥類研究所所長	平成 7 年 7 月 5 日	H21 年 3 月逝去
第五回	中村登流	上越教育大学名誉教授	平成 8 年 7 月 3 日	H19 年 11 月逝去
第六回	正富宏之	専修大学北海道短期大学教授	平成 9 年 9 月 9 日	
第七回	樋口広芳	東京大学大学院教授	平成 10 年 7 月 4 日	
第八回	山岸哲	京都大学大学院教授	平成 11 年 7 月 3 日	
第九回	藤巻裕蔵	帯広畜産大学教授	平成 12 年 6 月 17 日	
第十回	小城春雄	北海道大学大学院教授	平成 13 年 6 月 1 日	

第十一回	中村浩志	信州大学教授	平成14年6月7日	
第十二回	石居進	早稲田大学名誉教授	平成15年9月23日	
第十三回	由井正敏	岩手県立大学教授	平成16年9月23日	
第十四回	長谷川博	東邦大学教授	平成18年9月23日	
第十五回	立川涼	愛媛大学名誉教授	平成20年9月23日	H29年5月逝去
第十六回	森岡弘之	国立科学博物館名誉研究員	平成22年9月23日	H26年12月逝去
第十七回	日本イヌワシ研究会		平成24年9月23日	
第十八回				
(特別賞)	橘川次郎	クイーンズランド大学名誉教授	平成26年9月23日	H28年5月逝去
(特別賞)	小西正一	カリフォルニア工科大学名誉教授	平成26年9月23日	
第十九回	上田恵介	立教大学名誉教授	平成28年7月13日	
第二十回	江崎保男	兵庫県立大学教授・兵庫県立 コウノトリの郷公園 統括研究部長	平成30年7月2日	